

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	勉強レストランそうなんだ!!		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 4日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの多様性	<p>①工作 ハサミの使い方や接着剤の塗布、セロハンテープを使った作業など、基本的な手先の運動を意識した工作プログラム。</p> <p>②そうなんだフェスティバル 保護者の方、きょうだい児の方、地域の方などをご招待して朗読、演奏、お子さんのからふるスタディ（お子さんの興味のあるテーマについて調べたことを発表する。）、ダンスなどを披露するプログラム</p> <p>③長期休暇のプログラム 令和7年度は、他の放課後等デイサービス事業所や地域の高齢者福祉施設とレクリエーションを行う交流を行った。また、地域における余暇活動の選択肢を増やすことを目的に、カラオケやボウリングを体験するプログラムを提供した。また、かき氷を作って食べるプログラムに地域の小学生や利用者のきょうだい児を招待した。</p>	<p>①各都道府県において有名なお菓子をおやつとして提供し、食育や地理に親しむプログラムを実施する。</p> <p>②始まりの会などの1日の活動の始まりの際に、軽い運動プログラムを実施する。</p> <p>③外部の講師を招き、音楽療法プログラムを提供する。</p>

2	保護者との情報共有	<p>①連絡帳の電子化（アプリの導入） 日々の記録をアプリで確認できるようになったことや、請求関連の書類、個別支援計画などの情報を共有しやすくなった。</p> <p>②公式LINEの導入 公式LINEの導入により、欠席の連絡や提出物の期限の周知などが容易になった。</p> <p>③活動写真の共有 連絡帳アプリでの日々の記録に写真を添付することができるようになり、より具体的に活動内容が伝わりやすくなった。</p>	<p>保護者の方に工作等のプログラムの目的や身に付けて欲しい技術や知識、プログラム中のお子さんの様子などを記したフィードバックを発信していく。</p>
3	学習支援	<p>①学習進度の共有 お子さん1人1人がその日にどのような内容の学習をしているのか、学習に取り組んでいる時の様子などを記録できるフォームをインターネット上で開設し、職員全員で閲覧できるようにしている。</p> <p>②からふるスタディ 担当職員がそれぞれ考えた多様なテーマの授業や、選挙の投票体験など。</p>	<p>①今後はより細やかな学習支援を提供できるように、学習状況についてのみの会議の場を設けていく。</p> <p>②利用者の希望による漢字検定対策の支援を継続する。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への情報発信の頻度が少ないこと	<p>長期休暇の際に行う特別なイベントの報告を全体に向けて周知していなかった。また、非常時における対応をまとめた書類の取り扱いについてマニュアル化されていなかった。</p>	<p>特別なイベントを行った際は、公式LINEで全体に向けて情報を発信する。その際は、各プログラムの目的などを書いて周知する。</p> <p>また、非常時の対応に関する書類を公式LINEにおいて、いつでもスマートフォンなどから確認できるように公開する。</p>
2	細かい利用者情報の共有が不十分	<p>個別支援計画の共有はできていたが、日常的支援の方法など、利用者の情報をより細かく共有する機会を全体で設けていなかった。また、年間計画において会議の日程を決めていなかった。</p>	<p>月1回の指導員会をベースに、必要に応じてテーマごとの会議の時間を持つ。年間計画を立てる際に、会議の日時をあらかじめ予定しておく。</p> <p>また、普段の打ち合わせや支援の振り返り、送迎まで時間の余裕があるときを活用して、職員間で情報共有を進める。</p>

3	外部との連携（就学前、高校卒業後の機関など）が不十分	就学前と就労先の機関との情報共有ができていなかった。	今後は、就学前の機関と就労先の機関の情報を保護者の方から入手し、保護者の方を通じて、利用者の情報を共有していく。
4	研修回数の少なさ	研修計画が不十分だったこと。また、研修の時間を取れなかったこと。	研修の年間計画を立てる。その際に、日時や研修内容をあらかじめ決めておく。